

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中村学園女子中学校・中村学園女子高等学校体育館改修工事	階数	地上3F
建設地	福岡市城南区鳥飼7丁目10-38号他	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法第22条区域	平均居住人員	225 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月	評価の実施日	2020年2月6日
敷地面積	6,692 m ²	作成者	
建築面積	4,528 m ²	確認日	2020年2月12日
延床面積	7,247 m ²	確認者	古川



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	不整形な敷地を最大限活用した計画とします。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
自然採光・自然通風を最大限活用し、明るくて開放的な施設計画とします。	ゆとりのある共有空間を確保し、安全・安心に利用できる計画とします。	周辺への圧迫感を低減した施設計画とします。高校のコンセプトを継承し、施設全体の一体感に配慮した計画とします。足元部分に植栽を配し、周辺環境へ配慮します。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
体育施設には換気パネルを設け、熱だまり防止に配慮します。	雨水利用を行います。	計画建物ボリュームを分散配置とし、全体の建物高さを抑えた計画とします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される